

希少猛禽類現地学習会に参加しました！

7月4日(水)に湯沢砂防事務所管内に生息する希少猛禽類現地学習会に参加しました。(協力:株式会社建設技術研究所)

今回の学習会では、イヌワシが作った巣や飛翔する親鳥や今年生まれの幼鳥の姿を観察しました。また、イヌワシの生態及び近隣工事の保全に向けた取り組みを解説して頂き、砂防事業と自然環境との共存の重要性を考えました。

見学会の様子



イヌワシの実物大写真



イヌワシとは??



国の天然記念物となっていて、絶滅危惧種に指定されている鳥です。

イヌワシは草原の鳥といわれていますが、日本に広大な草原はないため山岳地域の地すべり後の木が繁茂していない地域に生息しています。

イヌワシが減少している理由としては生息環境の悪化などそれに伴う餌不足が挙げられます。

湯沢砂防事務所では、イヌワシ等希少猛禽類の生息・繁殖状況を継続しており、配慮が必要な工事現場では、低騒音・低震動の工事機械を使ったり、繁殖期に工事を行わない、など共存を図っています。